

三豊総合病院だより
Mitoyo
General
Hospital



2014
63

発行●三豊総合病院
発行人●白川 和豊

2007年1月・院長に就任した白川院長が、定年退職を迎えます



30年間
お世話になりました

院長 白川 和豊

私が医師になって間もない大学病院で研修中のころ、病棟勤務で注射係というのがありました。当時、静脈注射は医師がしなければなりません。研修医同士で自分たちの静脈に生理食塩水を注射しあって練習しました。今は、練習用の精巧な人形がありますが当時は自らの体で練習をしてから、初めて患者さんに注射をさせてもらえるようになります。うまい医師もいれば不器用なのもいました。私は相当器用なほうであったと思います。患者さんに注射をするときは、不安を与えないよう、経験豊富なベテランのような態度で注射をしたものです。注射の際は看護師が介助についてくれるのですが、注射の下手な若手医師を見下すようなベテランの看護師がいました。そのベテラン看護師とペアになると私の注射の腕はぐんと低下します。いつも簡単に静脈内に針を刺せるのに、彼女とペアになるとどうもうまくいかない。また、なぜか相性が悪い患者さんがいて、その方には2回も3回も刺しなおす、信用されない、ますますうまく刺せない、という悪循環に入り込みます。

さて、臨床研修の目標は、人格を涵養し、医師としての態度、知識、技術を身につけることとされています。医師は生涯学習を継続し、知識や技術を更新していく必要があります。技術の習得は経験を重ねるほかありません。院長という立場上、手術や内視鏡検査を受ける友人から「うまい医者にしてもらえるよう取り計らってよ」とお願いされることがたびたびありました。手術にしろ内視鏡にしろ、医師それぞれに技術の巧拙はあります。ただ、若い医師は技術の習得は早く、若いうちに

たくさんの経験を積めば腕はめきめき上達しています。下手なベテランよりはるかにうまい。そう考えていますので、取り計らうことはいたしませんでした。

医療や教育は地域社会住民全体の共有資源です。保健や医療・介護の提供体制が整っていれば安心してその地に住むことができますし、よき教育体制があれば子供を地域で育て地元の学校に通わせます。よき医療者や教育者がその地域でどんどん育てて住み着いてくればよいのですが、他の地域から呼び寄せないと足りていないのが当地域の実情です。院長の仕事のうち最も重要なことは、優秀な医療従事者を確保し、若い優秀な医師が育つ環境を整えることであろうと思います。これまでは幸いにして関連大学から、優秀な医師を送っていただき、また研修医もたくさん育ててきていると思います。しかし、それも次第に困難になってきていると、ひしひしと感じています。院長としての役割を十分果たせなかった私は、医師を育てる環境づくり、風土づくりのために、病院を利用していただく住民の方に病院の応援団になっていただき、「病院を上手に利用しよう、大事に使おう」という運動が広がらないかなと夢見ています。

3月末で定年退職いたします。長い間ありがとうございました。皆さんから信頼される病院に発展していくことを願っています。



イラスト提供/
池澤 正(観音寺市)
約10年、毎号イラストを
提供していただいで
います。

News.1

最新の超音波内視鏡を導入しました!



超音波内視鏡検査って?



胃カメラの先端に超音波がついていて、カメラで見えない胃粘膜の腫瘍（はれもの）や胆のう、すい臓を観察できます。

また、カメラから針を刺して細胞を取り、がんの診断なども可能になります。



ちなみに...

すい臓はお腹の奥の方にあるため、通常の超音波検査やCT、MRIなどでも、がんなどの診断が非常に難しい臓器です。胃の中から直接観察することにより、小さな腫瘍も描出できるようになります。



「すい臓がん」は早期発見が難しいがんで、末期の状態で見られることも少なくありません。この検査法の導入により、すい臓がんの早期発見に役立てられる可能性があります。

News.2

3月から「CT装置」が新しくなりました

新しい装置はこちら↓

このたび新しく320列CTを導入し、320列を最大に活かした診断支援が可能となります。

✓新しいCTの
ここがポイント



- ① 1回転で16cmの広範囲の撮影ができる
- ② 0.27秒の高速連続撮影が可能で患者さんの負担が軽減
- ③ 寝台を移動せずに1回転で320スライスの全脳の情報が得られる
- ④ 新たに血流や4Dの診断ができる
- ⑤ 被ばく低減技術の導入



320列CT 東芝社製 320列/Area Detector CT
「Aquilion ONE/VISION Edition」

ソフトも充実しています

頭部領域・ニューロンパッケージ、循環器領域、ブランクビューイング、骨領域・金属アーチファクト低減再構成、エネルギーの異なるデータを収集するデュアルエナジーなど

連載

部署紹介

今回は **小児科** を紹介します!!

近年少子化と言われていますが、観音寺・三豊市にも、医療を必要とする子どもたちはたくさんいます。

三豊総合病院小児科は常勤医師4名、非常勤医師1名、その他、たくさんの院外のスタッフで構成されています。感染症を中心に、低身長や甲状腺などの内分泌疾患、アトピー性皮膚炎や喘息などのアレルギー疾患、熱性けいれん・てんかんなどの神経疾患、腸重積や虫垂炎などの消化器疾患、AD／HDや自閉症などの発達障害、起立性調節障害、夜尿症など幅広い分野の診療にあたっています。

医師紹介

島内 泰宏 しまのうち やすひろ

資格 日本小児科学会専門医、日本アレルギー学会専門医

橋本 絢 はしもと あや

中岡 祐子 なかおか ゆうこ

佐々木 剛 ささき つよし

資格 日本小児科学会専門医、日本小児神経学会小児神経専門医

上松 麻理子 うえまつ まりこ

資格 日本小児科学会専門医

予防接種

ワクチンで防げる病気は一部ですが、どれもかかると重大なものであり、予防が大切です。近年、ワクチンの種類が増え、同時接種も可能となりました。生後2ヵ月がきたら、できるだけ早く予防接種を受けましょう。



周産期医療

産婦人科の先生とともに、月1回カンファレンスを行いながら、リスクのある出産について検討しています。そして、分娩には小児科医が立ち会っています。フォローの必要な児は退院後も定期的に診ています。

救急外来

夜間・休日、主として観音寺市、三豊市、愛媛県四国中央市の子どもたちの診療にあたっています。近医開業医の先生や高知大学・香川大学の先生に夜間診療を手伝ってもらっています。観音寺・三豊市で唯一の入院診療をしている病院でもあります。

院外活動として



月に2回は

スリムアップ教室

肥満の子どもを対象に毎回15~20人が集まり、リハビリのスタッフの協力のもと、縄跳びやボールを使って楽しく運動しています。



年に2回は

喘息キャンプ

夏は・・・喘息キャンプ 海や川へ
冬は・・・喘息キャンプ スキーへ
などなど、病気＝薬で治療だけじゃない! 普段の子どもたちを知ることができます。



毎月1回は

かたつむりの会

言葉、運動、社会性の発達に不安がある児をもつ保護者(当院を受診していない方も可)を対象に座談会、講演会を行っています。また、年2回は親子参加行事(うどん、カレーライス作り)を開催しており、年々参加数が増加しています。

新任医師の紹介



麻酔科

松下 幹晴 (まつした もと晴る)

麻酔科医として赴任することになりました、松下です。西讃は約20年ぶりです。当時の思い出はありますが、今回は持ち得る最新の技術を提供できればと考えています。



眼科

村田 晶子 (むらた あきこ)

眼科の村田晶子 (むらたあきこ) です。西讃で仕事をするのは初めてで、いろいろご迷惑をかけすることも多いと思いますが、よろしくお願いいたします。

New Face!



耳鼻咽喉科・頭頸部外科

岸野 毅日人 (きのの たけひと)

2月に香川大学から来ました。専門は頭頸部癌の診療・治療です。鼻副鼻腔、口腔・唾液腺、咽喉頭、甲状腺、頸部腫瘍などでお困りのことがあれば、お気軽にご相談いただければ幸いです。患者さんの希望や社会背景などを考慮し、機能温存に配慮した治療法をご提案いたします。また、頭頸部癌の治療には多くの診療科・部署との連携が必要です。各方面の皆さまにお願いすることも多々あるかと存じますが、どうかよろしくお願いいたします。

診察日などは院内の掲示物・ホームページなどでご確認ください。

「みとよサブリ」に参加しませんか？

毎月第3水曜は、明るい光が入る南棟ホールで“薬じゃないけどちょっとからだにいい話”をテーマにした「みとよサブリ」を開催しています。専門スタッフのお話を聞いて、日々を元気に楽しく過ごすヒントをみつけませんか？

日時 毎月第3水曜日
13時30分～14時

場所 南棟ホール

※日時、テーマは都合により変更することがあります。



年間スケジュールをご紹介します

日	テーマ	担当
4月16日(水)	腰痛予防	理学療法士
5月21日(水)	食中毒の原因と予防	栄養士
6月18日(水)	お口の健口 (けんこう)	歯科衛生士
7月16日(水)	糖尿病について	糖尿病療養指導士
8月20日(水)	薬の飲み方・正しい服用の仕方	薬剤師
9月17日(水)	がんと疼痛	緩和ケア・化学療法認定看護師
10月15日(水)	医療費の仕組み	医事課職員
11月19日(水)	退院調整システムについて	退院調整看護師
12月 6日(土)	「三豊総合病院の日」	(三豊ゆめタウンにて開催予定)

特別企画



気になるテーマは
ありませんか？

みなさんの質問にも
お答えしますので、
お気軽にご参加ください！



お知らせ

バス乗り場が新しくなりました



病院敷地内の、観音寺市のりあいバス・三豊市コミュニティバス乗り場に、新たに屋根を設置しました。

屋根ができたことで、雨や風の日でも、みなさんにバスをより活用していただきやすくなりました。

バス停は正面玄関を出て北側にありますので、お気軽にご利用ください。

図書コーナーが
リニューアルしました

外来での待ち時間や入院中に読書を楽しんでいただけるようにと、昨秋新設した「図書コーナー」。

このたびコーナーのスペースを広げてさらに本を充実させ、幅広い年代の方にご利用いただきやすく改善いたしました。



オープン時間

平日9時～16時

漫画や文庫本が増え、
絵本や児童書も取り
そろえています。

内科外来手前にありま
すので、お気軽にお立ち
寄りください！

ボランティアスタッフが
ピアノの音色をお届け♪

「患者さんに待ち時間をゆったり過ごしていただきたい」とボランティアスタッフが企画し、総合待合ホールにてピアノ演奏を行っています。



ボランティアスタッフは、緩和ケアや外来、図書コーナーなど、院内各所で活動。幅広く病院をサポートいただいています。



懐かしのメロディーやリクエストに応えるなどで、患者さんにピアノの音色をお届けしています。



今月の花



花壇や庭園の管理を市内の障害者就労施設に委託しています。市内の4施設が毎日交代で水やりや除草などを行っており、花壇にはさまざまな花が咲きます。



今月の花はこちら…

「梅」

❀ 花言葉…

高潔、上品、忍耐



当院は観音寺市・三豊市の2市組合立であり「憩いの庭」には2市が合併する前の旧1市4町の町木が植えられています。山本町（現・三豊市）の町木だった梅の木は、濃いピンクの花が咲きます。

リハビリテーション科 今月の作品



塗り絵 「小樽運河」

座位の耐久性や精神面の刺激などを得るリハビリの「塗り絵」。この作品は70歳代の男性が1週間ほどで仕上げたもので、水彩の色鉛筆で塗って水筆でぼかしています。もともと独学で絵を描いていた患者さんだったため、趣味の絵を通して笑顔を見ることができました。

今月の行事をご紹介

3月は院内のいろいろな場所が「ひなまつり」に。各部署の工夫が光る「ひなまつり」をレポートします。



中央3階病棟のアート



毎月恒例 入院給食の「行事食」



わたっこ保育園の作品



緩和ケア病棟のお雛さまとお花



わたつみ苑のお雛さま

栄養管理科がお届け 季節をもっとおいしく!

今月の簡単レシピ

材料(4人分)

れんこん	40g	赤玉ねぎ	20g	} ドレッシング
かぼちゃ	40g	サラダ油	大さじ2	
にんじん	40g	酢	大さじ1	
水 菜	120g	塩	少々	
		砂糖	少々	

野菜チップスサラダ



エネルギー: 78kcal
(1人分)

《野菜チップスの作り方》

- ① れんこんは皮をむきスライサーで薄切りにし、水にさらして水気をきる。さらにペーパータオルで水気をよくふく。
- ② かぼちゃ・にんじんはスライサーで薄切りにし、ペーパータオルで水気をよくふく。
- ③ 天板にオープンシートを敷き、1・2を並べる。
- ④ 3を130℃に予熱したオープンへ入れ30～40分焼き、冷ます。

《ドレッシングの作り方》

- ① 薄切りにした赤玉ねぎ、サラダ油、酢をミキサーにかける。
- ② 1に塩・砂糖を入れて味をととのえる。

《盛り付け》

- ① 水菜は洗って4cmの長さに切り、冷水にしばらく放置し、水気をきる。
- ② 皿に水菜と野菜チップスを盛り付け、ドレッシングをかける。

ポイント

- ・そのほか、ごぼう・さつまいも・豆類など、いろいろな材料をアレンジしても◎
- ・ドレッシングを市販のものにしても手軽に作れます。
- ・れんこんの食物繊維、かぼちゃ・にんじんのカロテン、ビタミン類を摂取できます。

豆知識



根菜類はよく噛まないで消化できません。「噛む」ことは肥満予防・胃腸の働きを促進・脳の発達・歯の病気を防ぐ…など、いろいろな効果が期待できます。よく噛んで体力向上、元気な毎日をご過ごしませう!